取扱説明書

システムラック

品番　TD-AVR1

お買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用の前にこの「取扱説明書」とテレビの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。とくに３～５ページの「安全上のご注意」は必ずお読みください。お読みになったあとは、いつでも取り出せるところに必ず保管してください。
取扱説明書には色記号の表示を省略しています。包装箱に表示している品番の（　　）内の記号が色記号です。

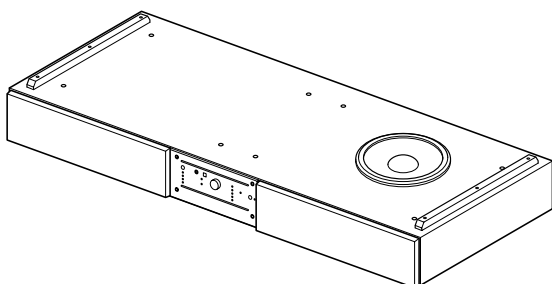
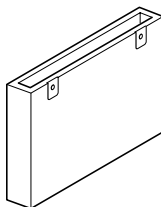
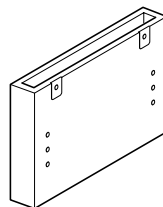
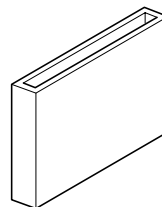
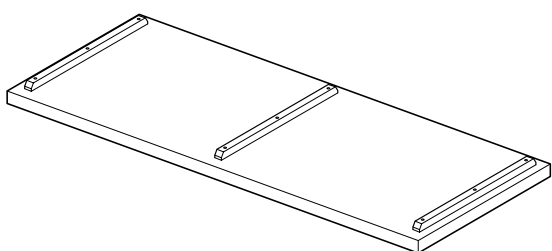
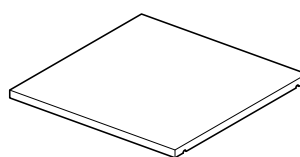
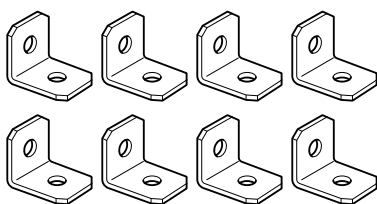
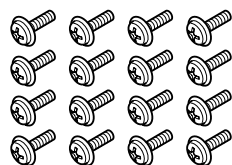
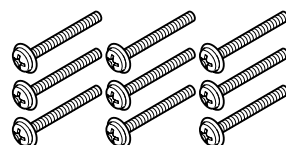
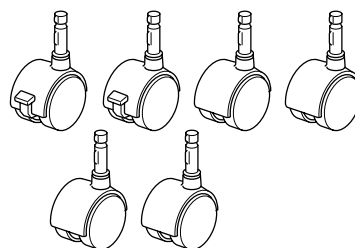
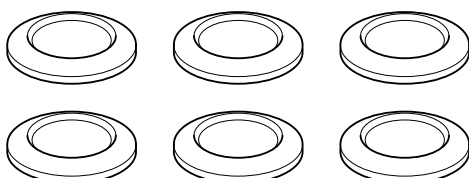
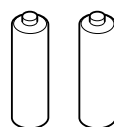
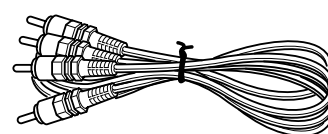
目　次

保証書は必ずお受け取りください。

上手に使って上手に節電

この機器を使用できるのは日本国内のみです。外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。
This equipment is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

同梱している部品

ラック天板　１個
（スピーカー、アンプ組み込み品）
支柱　（左）
１個
支柱　（中）
１個
支柱　（右）
１個
ラック底板　１個
棚板　１枚
Ｌ字金具　８個
ネジＡ　16本
（Ｌ字金具固定用、M4X12）
ネジＢ　９本
（ラック底板取付用、M4X44）
ネジＣ　２本
（転倒防止バンド固定用、M4X12）
棚板ピン　４個
キャスター　６個
（２個はストッパー付き）
キャスター台座　６個
リモコン　１個
（RC-511S）
消音
電源
音量
テレビ
外部
標準
シアター
ニュース
ミュージック
音声メニュー
SANYO
システムラック
RC-511S
電池　２本
（単４形）
音声接続コード
（ピンプラグ、2m）

安全上のご注意

ご使用の前に必ずお読みください。

■絵表示について

この取扱説明書と製品への表示では、お使いになるかたや他の人々への危害や、財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■絵表示の例

 の記号は「気をつけてほしいこと（注意）」を示します。

 の記号は「してはいけないこと（禁止）」を示します。

 の記号は「必ず実行してほしいこと（強制）」を示します。

警告

万一、異常や故障が発生したときは

電源プラグをコンセントから抜け

次のようなときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に修理をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

●煙が出ている、変なにおいや音がする（異常状態）
煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。
お客さまによる修理は危険ですから絶対おやめください。

●水などが内部に入った

●異物が内部に入った

●落としたり、キャビネットを破損した（故障状態）

電源コードの取り扱いについて

禁止

●電源コードの上に重い物をのせたり、コードを本機の下じきにしないでください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードの上をカーペットなどで覆うと気付かずに、重い物をのせてしまうことがあります。またコードを釘などで固定しないでください。

●電源コードはていねいに扱ってください。傷つけたり、加工・曲げ・ねじれ・引っ張り・加熱はしないでください。火災・感電の原因となります。

●しん線の露出や断線など、傷んだら販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

設置・使用する場所について

水ぬれ禁止

禁　止

●本機の上や近くに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。また、火のついたろうそくなどの燃焼物を上に置かないでください。火災の原因となります。

禁　止

警　告

●ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがや破損の原因となります。設置はシステムラックとテレビ、ラックに収納する機器の合計の重さに耐えられる水平な所に設置してください。

水ぬれ禁止

風呂、シャワー室での使用禁止

●ぬらしたり、風呂、シャワー室で使用したりしないでください。火災、感電の原因となります。

ご使用の際にはお守りください

裏ぶたをはずしたり、改造しないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。また改造は火災・感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。

通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災、感電、けがや故障の原因となります。特にお子さまにご注意ください。

表示された電源電圧（交流 100 ボルト）で使用してください。表示された電源電圧以外では火災・感電の原因となります。

雷が鳴り出したら電源プラグに触れないでください。感電の原因となります。

コンセントつき延長コードを使用する場合、複数の機器を同時に接続して使用するなど、延長コードの定格を超えた使いかたをすると発熱し、火災の原因となります。延長コードの定格表示や説明書に従い正しくお使いください。

電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。そのままで使用すると火災・感電の原因となります。

注意

設置・使用する場所について

●本機に内蔵しているアンプ回路の放熱をさまたげないよう、周囲から 10cm 以上距離をとり、カーテンやテーブルクロスなどで通風孔をふさがないよう設置してください。ふさぐと熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。
●湿気・ほこりの多い場所、調理台や加湿機のそばなどに置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
●上に重い物を置かないでください。転倒·落下してけがの原因となることがあります。

●安定した所に置いてください。不安定な所に置くと動いたり倒れたりしてけがの原因となることがあります。また地震などの非常時の安全確保と事故防止のため転倒防止策を行ってください。
●設置は、製品の重さに見合う人数で慎重に行ってください。十分でない人数で行うと転倒や落下を招く恐れがあり、けがや破損の原因となることがあります。

電源コード、電源プラグの取り扱いについて

禁　止

●電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
●抜くときはコード部分を引っ張らないでください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。
●コードを細かく折り曲げたり、巻いたり、束ねたまま使用しないでください。放熱しにくくなり、発熱やショートを起こし、火災・感電の原因となることがあります。
●電源プラグは根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントに接続しないでください。発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

●電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと発熱したりほこりが付着して火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。

ぬれ手禁止

●ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

ご使用の際にはお守りください

禁　止

上に乗ったりぶら下がったりしないでください。落下する、倒れる、こわれるなどしてけがの原因となることがあります。特にお子さまにご注意ください。

年に一度は内部の掃除を販売店にご相談ください。長年の使用で内部にほこりがたまると火災や故障の原因となることがあります。掃除は梅雨の前が効果的です。費用などは販売店にご相談ください。

電源プラグを
コンセントから抜け

●旅行など長期間不在のときは安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。
●お手入れは電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。
●移動は接続コードや電源コードをはずし、テレビをラックから降ろして別々に行ってください。
ラックにのせたまま移動させますと、けがや破損の原因となることがあります。

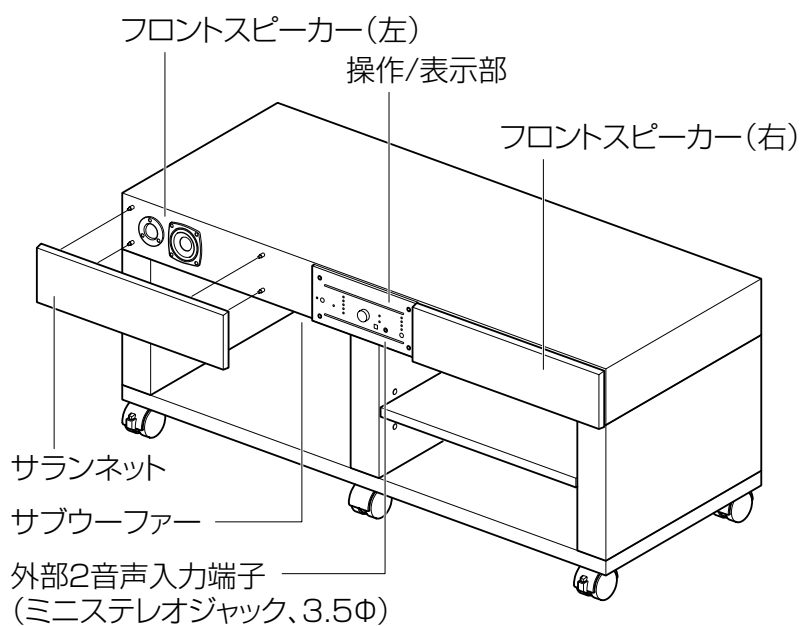
正しくお使いいただくために／お手入れ

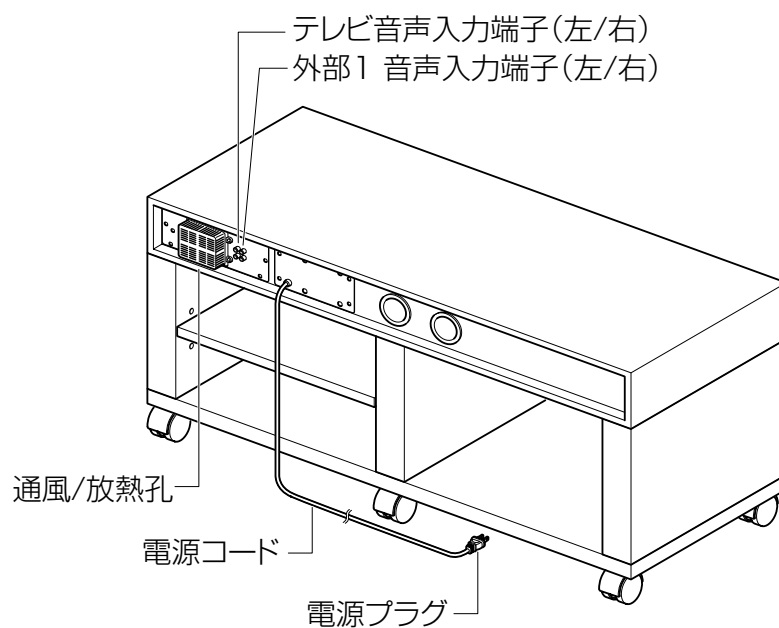
●直射日光が当たる所や熱器具のそばなどの高温になる所、ほこりや湿気の多い所では使用しないでください。故障の原因となります。
●殺虫剤など揮発性のものをかけたり、ゴムや粘着テープ、ビニール製品を長期間接触させないでください。変質・破損したり塗料がはがれる原因となります。
●移動させるときはテレビをラックから降ろし、床面から持ち上げて移動させてください。床面に置いたままずらせますと床面を傷める原因となります。
●ネットの部分を固いものやとがったものでひっかかないでください。ほつれや破れの原因となります。

●お手入れは柔らかい布で軽くふいてください。ひどい汚れはうすめた中性洗剤を含ませた布を固く絞ってふき、乾いた布で仕上げてください。
●ベンジンやシンナーなどでふきますと変質・破損したり、塗料がはがれることがあります。化学ぞうきんの使用は注意書きにしたがってください。

各部の名前

前　面

⚠ご注意

サランネットは取り外しできますが、スピーカーユニットの保護のため、装着してご使用ください。

後　面

ラックの組み立てと設置

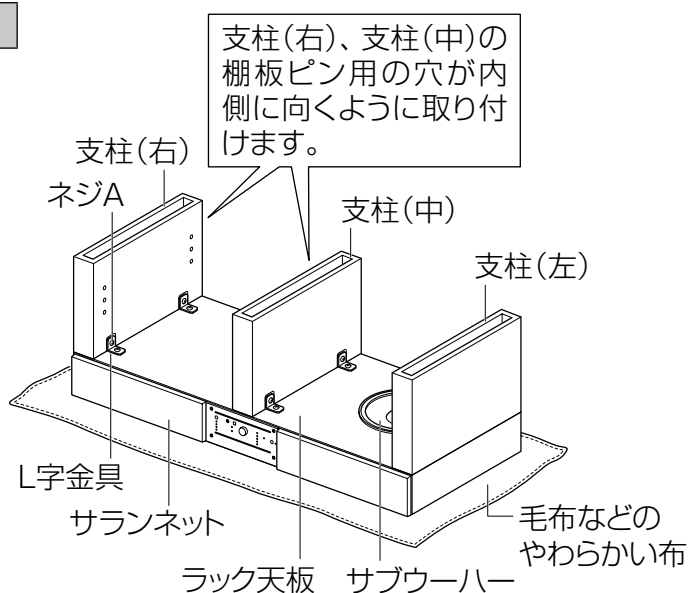
同梱している部品については 2 ページをご覧ください。

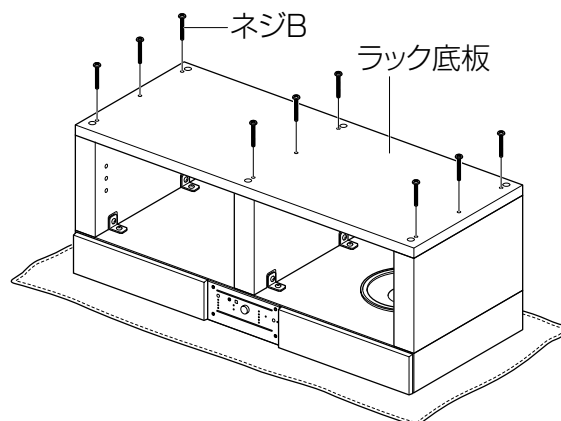
組み立てには、お手持ちのプラスドライバーをご用意ください。

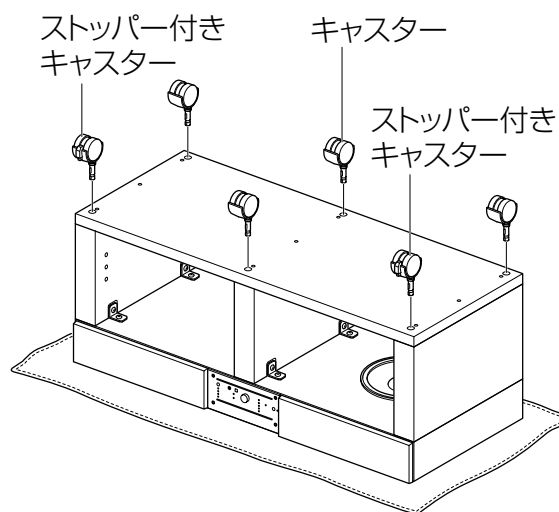
1 ラック天板に支柱を取り付ける

①平らな床などに、毛布などのやわらかい布をしき、ラック天板を、サブウーハーが上になるように静かに置きます。
②支柱（右）、支柱（中）、支柱（左）をＬ字金具とネジＡで、ラック天板にしっかりと取り付けます（計８箇所）。

ご注意

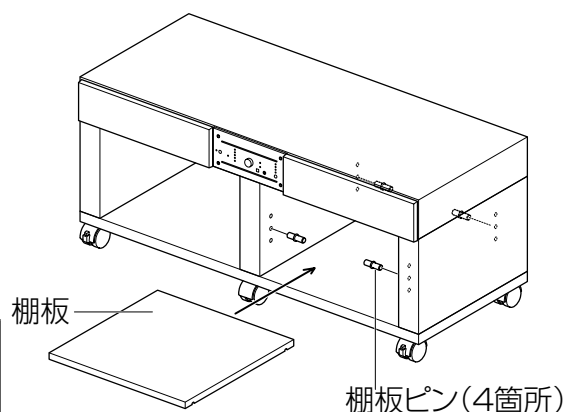
ラック天板を持つときは、サランネット部分に手をかけないでください。サランネットは取り外しできますので、外れてラック天板が落下するなど、事故の原因となることがあります。

2 ラック底板を取り付ける

ネジＢでラック底板を支柱にしっかりと取り付けます。

3 キャスターを取り付ける

ラック底板の穴に、キャスターの軸をしっかりと差し込みます。ストッパー付きのキャスター２個は、前面の左右に差し込んでください。

4 棚板を取り付ける

①ここまで組み立てたシステムラックを持ち上げ、キャスターが下になるように裏がえして静かに置きます。
②棚板ピンを支柱（中）と支柱（右）のご希望の高さに差し込み、棚板をのせます。棚板の高さは 3 通りから選べます。

⚠ご注意

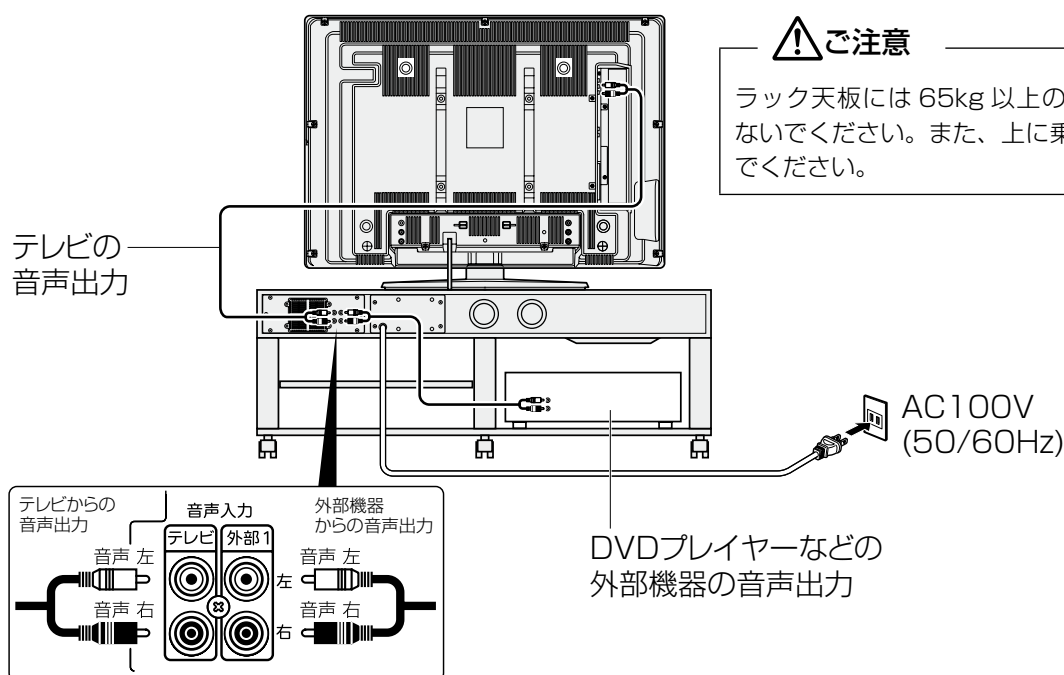
●棚板には、15kg 以上の重い物をのせないでください。
●棚板はラックの右側にしか取り付けられません。

5 薄型テレビを設置する

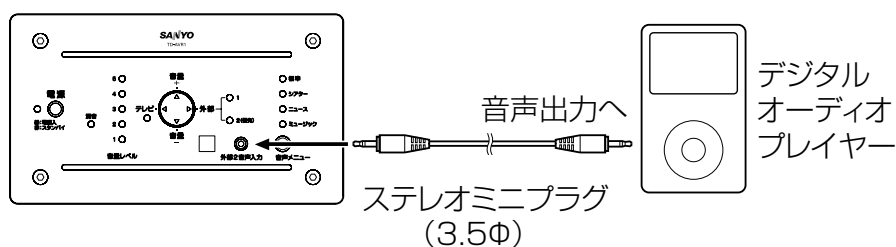
組み立てたシステムラックの上に薄型テレビを静かに置きます。

6 コード類を接続する

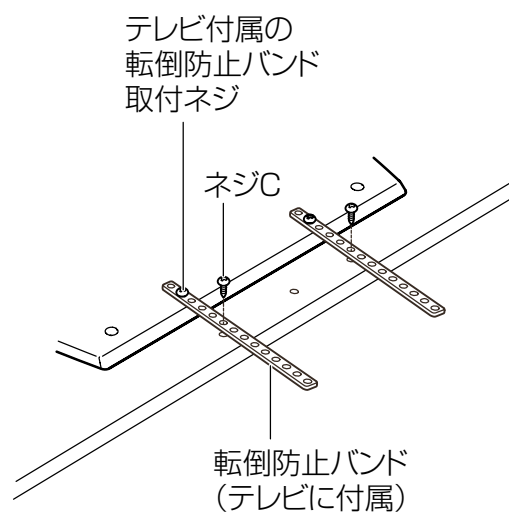
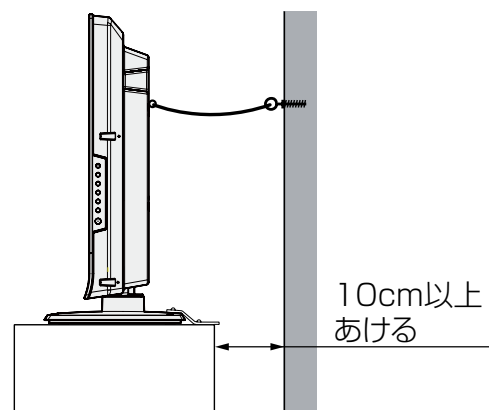
①テレビや DVD プレーヤーの音声出力をシステムラック後面の入力端子へ接続します。
②システムラックの電源コードを、コンセントへ接続します。

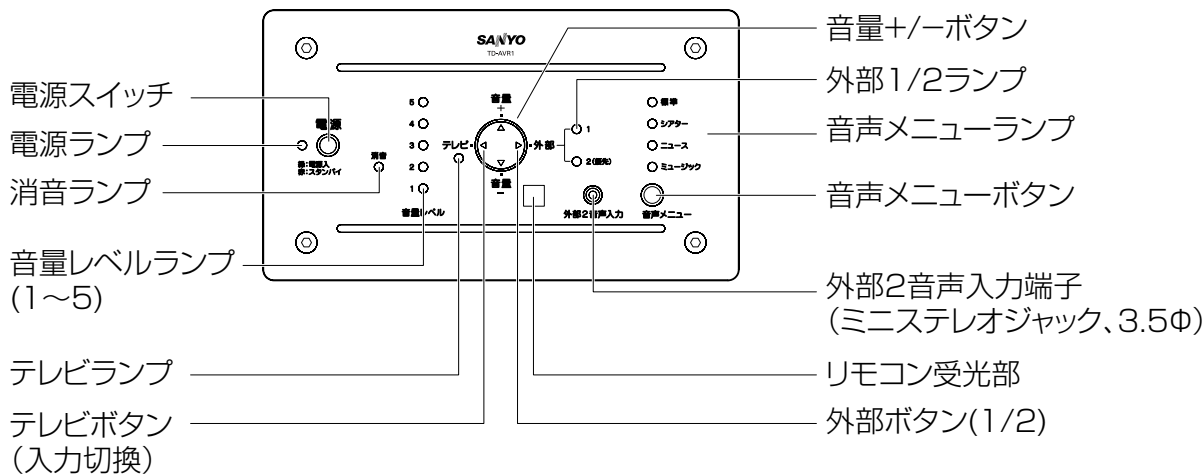
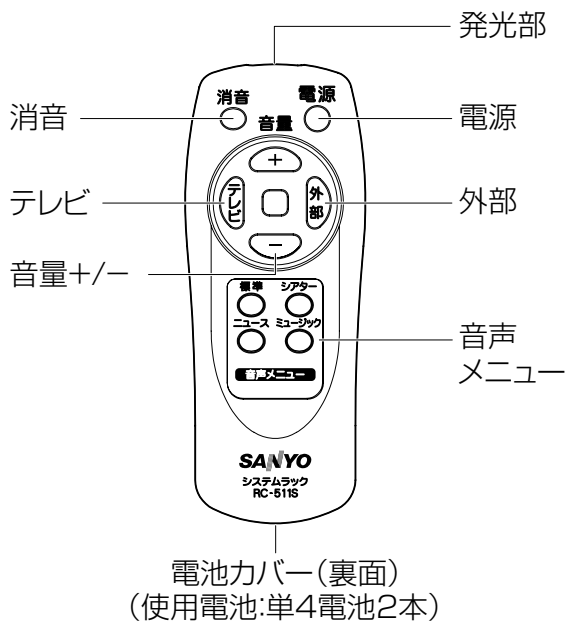
⚠ご注意

ラック天板には 65kg 以上の重い物を載せないでください。また、上に乗ったりしないでください。

※接続には、付属や市販の音声接続コード（ピンプラグ付き）をお使いください。

接続が終わったら電源コードをコンセントへ差し込みます。
デジタルオーディオプレーヤーなどの音声出力は、前面の外部 2 音声入力端子へ接続できます。

7 設置／転倒防止策

●システムラックに内蔵したアンプの放熱をさまたげないよう、システムラック後面と壁などとの間は 10cm 以上あけて設置してください。
●ラック天板に設けられた転倒防止バンド用ネジ穴とネジ C を使って、薄型テレビ付属の転倒防止バンドをシステムラックに固定します。
●薄型テレビに取り付けたフックに丈夫なロープなどを通して壁や柱に取り付け、転倒防止策を行います。（詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください）
●システムラックを安定させ、床面を保護するため、キャスターを前面に向け、キャスター台座の上に設置してください。設置し終わりましたら、キャスターのストッパー（2 個のキャスターについています）をロックしてください。

右図の転倒防止策は当社液晶テレビ LCD-32SX200 の場合です。転倒防止策はテレビによって異なりますので、それぞれのテレビに合った転倒防止策を実施してください。

システムラックの使いかた

操作／表示部

リモコン RC-511S

リモコンで操作できる範囲

テレビのリモコン受光部から約５メートル以内（左右30度ずつの角度）の範囲で操作できます。間に障害物があると操作の妨げになります。またリモコン受光部に強い光が当たっていると操作できないことがあります。

リモコンを傷めないために

リモコンを傷めないために次のことをお守りください。

●液状のものをかけない。
●熱や湿気をさける。
●落としたり衝撃を与えない。

乾電池の入れかた

電池カバーを開け、電池ケースの表示どおりに＋（プラス）とー（マイナス）の向きを正しく入れ、電池カバーをしめます。（単４形　1.5V　２本）

⚠ご注意

乾電池は指定のものを向きを正しく入れ、新しいもの・古いもの、種類のちがうものを混ぜて使わないでください。またショート、分解、充電はしないでください。火災・けがや汚損の原因となることがあります。

乾電池のお取り扱い

●長期間使わないときは乾電池を取り出してください。
●使用済み乾電池は定められた場所に廃棄してください。可燃ゴミに混ぜたり燃やしたりしないでください。
●液もれが起こったときは、電池ケースについた液をよくふき取ってから新しい乾電池を入れてください。
●万一、もれた液が体についたときは、水でよく洗い流してください。やけどをすることがあります。
●乾電池は直射日光が当たる場所や熱器具の近くなど、高温になる場所には置かないでください。

操作のしかた

①システムラック本体の電源スイッチを押して電源を入れます。
リモコンで操作できるようになります。
電源が入っているときは電源ランプが緑で点灯します。

②テレビボタンまたは外部ボタンを押して、入力を選びます。
●テレビボタン：後面のテレビ音声入力へ接続した機器の音を再生します。
●外部ボタン：後面の外部 1 音声入力、または前面の外部 2 音声入力へ接続した機器の音を再生します。
選んだ入力のランプが点灯します。

外部 2 音声優先機能
前面の外部 2 音声入力端子に機器を接続したときは、入力が自動で外部 2 音声に切り換わり、他の入力には切り換わらなくなります。

③音量＋／－ボタンで音量を調節します。
音量によって音量レベルランプの点灯が 1 ～ 5 に変わります。

④音声メニューボタンを押して、ご希望の音声メニューを選びます。標準、シアター、ニュース、ミュージックの中からお好みのものを選びます。選んだ音声メニューのランプが点灯します。
●標準　　　　：標準的で自然な音
●シアター　　：映画の再生に適した音
●ニュース　　：声を聴きやすくした音
●ミュージック：音楽をメリハリよく聴かせる音

⑤来客などのときは消音ボタンを押すと音が消えます。消音中は消音ランプが点灯します。

⑥リモコンで電源を切るときは、リモコンの電源ボタンを押します。スタンバイ状態のときは、電源ランプが赤で点灯します。

⚠ご注意

●本機は電源コンセントの近くに設置し、万一異常が生じたときはすぐに電源プラグを抜けるようにしてください。
●電源ランプが消えている場合でも、電源プラグをコンセントに差し込んだ状態では回路の一部に通電しています。完全に電源を遮断するためには、電源プラグをコンセントから抜いてください。電源プラグは破損させたり、分解や改造をしないでください。
●旅行などで長期間本機を使用しないときは、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜きましょう。

故障かなと思ったら

症　状	原因と処理
音が出ない	●電源プラグはコンセントに差し込まれていますか。 ●テレビや外部機器との接続は正しいですか。確認してください。 ●接続したテレビや外部機器の音声信号は出ていますか。 ●音声入力の切り換えは正しいですか。
リモコンで操作できない	●システムラックのリモコン受光部に向けてボタンを押してください。 ●電池の向きは正しいですか。電池が消耗していませんか。

お客さまご相談窓口

お客さまご相談窓口

■まずはお買い上げの販売店へ…

家電商品の修理のご依頼やご相談は、お買い上げの販売店へお申し出ください。
転居や贈答品でお困りの場合は、下記の相談窓口にお問い合わせください。

家電商品についての全般的なご相談 ＜三洋電機株式会社 お客さまセンター＞

受付時間：（365 日）9:00 ～ 18:30

総合相談窓口	050-3116-3434

※上記番号をご利用できない場合は**大阪(06)-6994-9570**におかけください。
※郵便またはFAXでご相談される場合
三洋電機株式会社 お客さまセンター　〒570-8677 大阪府守口市京阪本通2-5-5
FAX：大阪(06)-6994-9510

家電商品の修理サービスについてのご相談 ＜三洋電機サービス株式会社＞

受付時間：月曜日　～　金曜日 9:00 ～ 18:30
土曜･日曜･祝日･当社休日 9:00 ～ 17:30

修理相談窓口			
修理相談窓口	東コールセンター	関東・甲信越地区	050-3116-2222 東京(03)5302-3401
		北海道地区	050-3116-2333
		東北地区	050-3116-2444
	西コールセンター	近畿・北陸・四国地区	050-3116-2555 大阪(06)4250-8400
		中部地区	050-3116-2666
		中国地区	050-3116-2777
		九州地区	050-3116-2888
	沖縄地区		098-944-5018

(※) 沖縄地区の受付時間：月曜日～土曜日　9:00 ～ 12:00、13:00 ～ 17:30
（日曜、祝日及び当社休日を除く）

持込み修理および部品についてのご相談 ＜三洋電機サービス株式会社＞

受付時間 : 月曜日～土曜日　9:00 ～ 17:30（日曜、祝日を除く）

家電商品の持込み修理および部品のご相談については、各地区拠点（サービスセンター、サービスステーション）で承っております。最寄の拠点は別記一覧もしくは弊社ホームページでご確認ください。

■上記のご相談窓口の名称、電話番号は変更することがありますのでご了承ください

お客さまご相談窓口におけるお客さまの個人情報のお取扱いについて

お客さまご相談窓口でお受けした、お客さまのお名前、ご住所、お電話番号などの個人情報は適切に管理いたします。
また、お客さまの同意がない限り、業務委託の場合および法令に基づき必要と判断される場合を除き第三者への開示は行いません。なお、お客さまが当社にお電話でご相談、ご連絡いただいた場合には、お客さまのお申し出を正確に把握し、適切に対応するために、通話内容を録音させていただくことがあります。

＜利用目的＞
- お客さまご相談窓口でお受けした個人情報は、商品・サービスに関わるご相談・お問い合せおよび修理の対応のみを目的として用います。なお、この目的のために三洋電機株式会社および関係会社で上記個人情報を利用することがあります。

＜業務委託の場合＞
- 上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては当社と同等の個人情報保護を行わせると共に、適切な管理・監督をいたします。

個人情報のお取り扱いについての詳細はホームページ http://www.sanyo.co.jp をご覧ください。

持込み修理および部品についてのご相談

三洋電機サービス株式会社

	都道府県名	サービスセンター&ステーション	電話番号	郵便番号	住所
北海道地区	北海道	札幌サービスセンター	☎(011)831-9201	〒003-0013	札幌市白石区中央三条4-1-36
		旭川サービスステーション	☎(0166)22-2421	〒070-0073	旭川市曙北三条7-3-3
		函館サービスステーション	☎(0138)48-8301	〒041-0824	函館市西桔梗町589-295
		釧路サービスステーション	☎(0154)22-1576	〒085-0035	釧路市共栄大通3-1-6
		北見サービスステーション	☎(0157)23-4871	〒090-0037	北見市山下町4-7-14
東北地区	青森県	青森サービスステーション	☎(017)729-3401	〒030-0141	青森市上野字山辺29-5
	岩手県	盛岡サービスセンター	☎(019)623-1600	〒020-0824	盛岡市東安庭2-12-1
	宮城県	仙台サービスセンター	☎(022)287-8351	〒984-0032	仙台市若林区荒井字丑ノ頭43-1
	秋田県	秋田サービスステーション	☎(018)862-6551	〒011-0901	秋田市寺内イサノ93-1
	山形県	山形サービスステーション	☎(023)641-1769	〒990-2331	山形市飯田西4-5-35
	福島県	郡山サービスステーション	☎(024)945-6793	〒963-0107	郡山市安積3-120
関東･甲信越地区	茨城県	水戸サービスステーション	☎(029)251-4125	〒311-4152	水戸市河和田3-2386-1
		つくばサービスステーション	☎(0298)64-4751	〒300-3261	つくば市花畑2-15-3
	栃木県	宇都宮サービスステーション	☎(028)614-3883	〒321-0111	宇都宮市川田町字免ノ内765-5
	群馬県	伊勢崎サービスステーション	☎(0270)40-7611	〒372-0003	伊勢崎市華蔵寺町87-1
	埼玉県	さいたまサービスセンター	☎(048)778-3095	〒362-0025	上尾市上尾下780-1
		坂戸サービスステーション	☎(049)284-8900	〒350-0214	坂戸市千代田5-3-17
	千葉県	千葉サービスセンター	☎(043)208-3800	〒260-0842	千葉市中央区南町3-7-15
		鎌ヶ谷サービスステーション	☎(047)441-0111	〒273-0105	鎌ケ谷市鎌ケ谷7-6-59
	東京都	武蔵野サービスセンター	☎(042)364-7721	〒183-0033	府中市分梅町5-9-1
		城東サービスステーション	☎(03)5697-8160	〒120-0005	足立区綾瀬7-22-15 綾瀬7丁目ビル
		城北サービスステーション	☎(03)5914-3413	〒174-0051	板橋区小豆沢(アズサワ)1-23-10
		城西サービスステーション	☎(03)5347-0761	〒167-0032	杉並区天沼3-12-12 テック杉並
		相模原サービスステーション	☎(042)788-2760	〒194-0012	町田市金森851-3
	神奈川県	横浜サービスセンター	☎(045)827-2831	〒244-0806	横浜市戸塚区上品濃9-14
	新潟県	新潟サービスセンター	☎(025)285-2431	〒950-0942	新潟市中央区小張木2-16-43
	山梨県	甲府サービスステーション	☎(055)226-2561	〒400-0035	甲府市飯田4-8-23
中部･北陸地区	富山県	富山サービスステーション	☎(076)422-7020	〒939-8211	富山市二口町1-13-8
	石川県	金沢サービスセンター	☎(076)292-2060	〒921-8005	金沢市間明町2-100
	福井県	福井サービスステーション	☎(0776)53-7134	〒910-0834	福井市丸山1-1002
	長野県	松本サービスステーション	☎(0263)40-3411	〒390-0852	松本市島立1064-1
	岐阜県	岐阜サービスステーション	☎(058)246-3417	〒501-6006	岐阜県羽島郡岐南町伏屋1-35
	静岡県	静岡サービスセンター	☎(054)236-0691	〒422-8034	静岡市駿河区高松2-26-10
		沼津サービスステーション	☎(055)935-0501	〒410-0822	沼津市下香貫七面1152-2
		浜松サービスステーション	☎(053)461-8685	〒430-0812	浜松市南区本郷町123
	愛知県	名古屋サービスセンター	☎(052)485-3620	〒453-0816	名古屋市中村区京田町2-1
	三重県	津サービスステーション	☎(059)236-5195	〒514-0111	津市一身田平野285-2
近畿地区	滋賀県	滋賀サービスステーション	☎(077)514-2221	〒524-0021	守山市吉身4-1-24 南井産業第3ビルB棟
	京都府	京都サービスセンター	☎(075)645-1434	〒612-8427	京都市伏見区竹田真幡木町26-1
	大阪府	大阪サービスセンター	☎(06)6992-6235	〒570-0086	守口市竹町4-13
		大阪南サービスステーション	☎(06)6761-4600	〒543-0001	大阪市天王寺区上本町5-1-14 三洋ビル2F
		阪和サービスステーション	☎(072)221-8571	〒590-0026	堺市堺区向陵西町2-1-24
	兵庫県	神戸サービスセンター	☎(078)641-1251	〒653-0038	神戸市長田区若松町2-1-9 ピアザビル3F
		阪神サービスステーション	☎(06)6432-3401	〒661-0026	尼崎市水堂町4-17-6
		姫路サービスステーション	☎(0792)82-7892	〒670-0943	姫路市市之郷町1-9
		淡路サービスステーション	☎(0799)42-6015	〒656-0478	南あわじ市市福永536-1
	奈良県	奈良サービスステーション	☎(0744)22-7888	〒634-0817	橿原市寺田町113-1
	和歌山県	和歌山サービスステーション	☎(073)473-7112	〒640-8301	和歌山市岩橋1636-1
中国地区	鳥取県	鳥取サービスステーション	☎(0857)24-2930	〒680-0843	鳥取市南吉方3-107
	島根県	松江サービスステーション	☎(0852)23-1183	〒690-0044	松江市浜乃木2-15-3
	岡山県	岡山サービスセンター	☎(086)245-1634	〒700-0973	岡山市下中野703-101
	広島県	広島サービスセンター	☎(082)293-6511	〒733-0012	広島市西区中広町2-1-2
		福山サービスステーション	☎(084)954-4101	〒721-0952	福山市曙町4-22-10
	山口県	山口サービスステーション	☎(083)973-3391	〒754-0024	山口市小郡若草町2-6
四国地区	徳島県	徳島サービスステーション	☎(088)699-4131	〒771-0219	徳島県板野郡松茂町笹木野字八北開拓189-1
	香川県	高松サービスセンター	☎(087)843-1840	〒761-0101	高松市春日町字片田1657-1
	愛媛県	松山サービスステーション	☎(089)979-3486	〒799-2655	松山市馬木町274
	高知県	高知サービスステーション	☎(088)831-2570	〒780-8007	高知市仲田町6-12
九州地区	福岡県	福岡サービスセンター	☎(092)928-3414	〒818-0061	筑紫野市紫6-1-1
		北九州サービスステーション	☎(093)521-5286	〒802-0004	北九州市小倉北区鍛冶町2-4-7
	長崎県	長崎サービスステーション	☎(095)813-3545	〒851-0101	長崎市古賀町1006-5
	熊本県	熊本サービスセンター	☎(096)388-3434	〒861-8045	熊本市小山3-2-11 熊本トラックターミナル内
	大分県	大分サービスステーション	☎(097)543-3454	〒870-0829	大分市椎迫5-6組
	宮崎県	宮崎サービスステーション	☎(0985)29-3441	〒880-0022	宮崎市大橋3-224
	鹿児島県	鹿児島サービスステーション	☎(099)251-4615	〒890-0068	鹿児島市東郡元町11-10
沖縄地区(※)	沖縄県	沖縄三洋販売株式会社 サービス部	☎(098)944-5018	〒903-0103	沖縄県中頭郡西原町小那覇1303

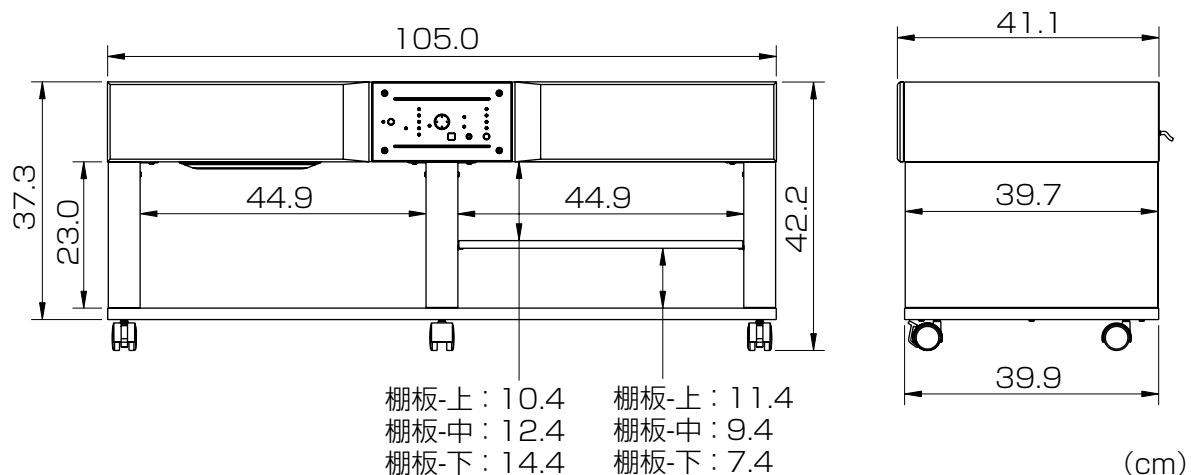
☆住所・電話番号は、ご通知なしに変更することがありますので、ご了承ください。　010407J

仕様

外形寸法：幅 105.0 ×高さ 42.2 ×奥行き 41.1cm、質量：33.0kg（高さはキャスター受け皿含まず）
天板部耐荷重 65kg、棚板部耐荷重 15kg

(搭載スピーカー)
サブウーハー：20cm 円型、定格インピーダンス 10 Ω
スピーカー：8cm 円型＋ソフトドーム型ツィーター、定格インピーダンス 4 Ω

(内蔵アンプシステム)
アンプ出力（JEITA）：総合 68W、左右スピーカー各 19W、サブウーハー 30W
入力端子：テレビ音声入力、外部 1 音声入力、外部 2 音声入力
使用電源：AC100V 50/60Hz
消費電力：65W、リモコン待機時 0.3W

※仕様および外観は改善のため予告なく変更することがあります。
※説明書の図はわかりやすくするために誇張や省略をしています。実物とは多少異なります。

保障とアフターサービス

■この商品には保証書がついています
保証書（この取扱説明書の裏表紙に掲載）は、お買い上げ販売店でお渡しします。お買い上げ日、販売店名などの記入をお確かめの上、内容をよくお読みになり大切に保管してください。

■保証期間
保証期間はお買い上げ日より 1 年間です。

■保証期間中の修理
保証書の記載内容にしたがってお買い上げ販売店が修理いたします。詳しくは保証書をごらんください。

■保証期間が過ぎたあとの修理
お買い上げの販売店にご相談ください。
お客様のご要望により有料修理いたします。

■修理を依頼される前に
11 ページの「故障かなと思ったら」にそって故障かどうかお確かめください。それでも直らない場合は、ただちに電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げ販売店に修理をご依頼ください。

■修理を依頼されるときにご連絡いただきたいこと
●お客さまのお名前
●ご住所、お電話番号
●商品の品番
●故障の内容（できるだけ詳しく）

■補修用性能部品について
この商品の補修性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の保有期間は、製造打ち切り後 8 年です。

ご転居やご贈答の際、そのほかアフターサービスについてご不明の点がありましたら、お買い上げ販売店または最寄りのお客さまご相談窓口にお問い合わせください。お客さまご相談窓口については、「お客さまご相談窓口」をご覧ください。

三洋電機株式会社　www.sanyo.co.jp
グローバル営業グループ　国内マーケティング本部
マーケティング統括部　AV 商品企画部
〒 110-8534　東京都台東区上野 1 丁目 1 番 10 号